工廠公認サボ

轉工は拒絶されるし 馘首もならず大閉口

東京砲兵工廠小銃製造所の職工四百名が砲具及び精品製造所へ轉工を命ぜられた事は既報[illegible]る如く小銃製造所内[illegible]組立、研磨、鍛工、銑床、銃身檢査等の八工場に屬する前記四百名の職工は昨夜來代表者を選びて會合を開き

何れも斷乎

として轉工を拒絶することに決した目下小銃製造所には約三千名の職工あり其の内千三百名を馘首す可きことは既に當局の宣言せる所にして四百名が其の第一の血祭りに供せられ六月中には殘る九百名の馘首を見る可き筈である故に工場を擧げて怠業氣分に陷り煙草休みも勝手次第甚だしきに至つては一國の兵器を製造す可き工廠内で植木をイジくつて時間を潰すやうな有樣である當局も失業者を出せば騷がれるし轉工を命ずれば拒絶されるし其れかと云つて斷然馘首する譯にも行かず工廠内一般に殆んど公認サボの有樣である小銃製造所の職工の如き戰時中には八千名からの職工が連日

連日大車輪

で働いて居た所だが只今の所僅に二百挺の輕機關銃を作つてお茶を濁して居る位である一方四百名の職工は砲具製造所の鞍工へ二百名、精器製造所へ二百名來月一日から轉工する筈だが精器は兎も角鞍工の方は轉工職工の不馴れなため歩合關係上先方でも反對熱が高い日本勞働聯盟では今夜某所で幹部會を開き其の結果一應松浦提理に會見を求めて三條件の遂行と轉工者の處置に就て即時回答を求め更に陸軍

當局に陳情

する由である來る七月迄の内に一萬二千名の職工者四千名が馘首されることになれば全部の同盟罷業を見るに至る可く工廠内は怠業氣分と失業恐怖のために人心恟々として不安を極めて居る

工廠の解雇説は

爲めにする者の宣傳

附屬替へはしたが解雇などせぬ＝陸軍當局談

陸軍整理縮小に基いて東京砲兵工廠の工場中小銃製造所[illegible]を縮小する事[illegible]して居る[illegible]の職工に對する善後策に就て[illegible]年來研究を重ね其結果此等職工の失業を防止するには小銃製造所職工から砲具或は精器の製造所に

轉屬させ

て仕事を與へるより外名案がない仍つて轉屬せしむるにも特に賃銀を低下せぬ條件で希望者を之に當る事にした然るに反對宣傳を爲し工廠の處置に妨害を加へるものがある爲に豫期の希望者を得なかつた其處で今回更に

適任者と

認むるものを集め詳細事情を説明した處轉屬に同意した男女工約四百名を得たから其の半數は各砲具及精器の兩製造所に配屬せしめたのである而して轉屬後も從來の仕事と略同樣な仕事に從事せしめたから個人として業務には支障は起らない然るに今回の砲兵工廠の處置を以て

職工解傭

の惡辣手段であるとか又工廠職工が不平を訴へて怠業をして居るとか云ふ事を傳へらるゝのは誠に遺憾であつて之は職工問題に強ひて波瀾を惹起して自己の利益を計り居る者の宣傳に過ぎない

陸軍職工の

態度決らず

＝本日更に運動 動搖の砲兵工廠

東京砲兵工廠内の小銃製造所では去る二十九日職工三千名中約四百名に轉職を命じた結果之を解雇の前提とも見て工廠内の空氣は多少動搖し昨朝輪削工場の[illegible]井じゆう外十二、三名の女工は當局と會見し又日本勞働聯盟でも昨夜幹部會を開いたが未だ態度を決せず本日更に廠内職工の意向を確めて當局に談[illegible]聯盟側では「南部少將が小銃の製造はシャムの註文も來るからと言明したが未だに來ない」と失業の前途を見越した樣に云つてゐたが職工は多くは轉職を厭うて居る爲め相應面倒な問題が持上るべく現在に於ても四百名轉職の結果「昨日も今日も出勤してゐるが小銃製造所は總怠業です」と聯盟幹部は云つてゐた

大阪側は

未だ起たぬ

東京の模樣次第

大阪砲兵工廠では仕事は閑散であるが全然ないと云ふのではなく註文品もあるから多數の勞働者を

時に

解雇する迄には迫つて居ない、唯だ二月一日から既に七百四十名が自然退職をして居るし、最近四百名許り解雇するので向上會にも内々交渉かあつたが、向上會では思想上さか勞働組合に關係したから解雇すると云ふなら問題だが他の理由ならば失業は多少あるものと豫期して居るから

仕方が

ないとの事である、最近大阪砲兵工廠が所澤から飛行機のエンヂンを註文され仕上げた所約三十以上のものが東京で一個の外は全然不合格になつたので機材係の三木中佐等は困惑して居るさうだが是は勞働組合の所謂「安い賃銀なら少く働く」と云ふ

怠業に

依るものと見て居る、八木向上會長は語る「運動中の解雇手當は陸軍側の聲明に依つて我々は八月迄隱忍して居る積であつたが東京が起つならば是[?]初より共同動作であるし大阪にも大關係のある事だから極力やる積である、東京からの情報に依つては緊急の

幹部會

を開いて至急上京するが最近解雇者が幹部中に續出して居るから幾らでも持出して極力鬪ふ事は出來る」と（大阪三十日電話）

大阪鐵工所の

職工紛議

地藏堂にて大會

大阪西區櫻島大阪鐵工所三千名の職工は豫てから不穩の形勢あり所轄朝日橋署高等課員は警戒中であつたが二十七日朝來に至り遂に約二千名の職工は怠業狀態となつた職工側の言分は解雇手當を制定し之れを發表せよと要求するのであつて職工側岡利一外[illegible]名が代表者となり二十七日午後[illegible]側に對して[illegible]談し要求を迫る事になつてゐるが更に午後四時からは櫻島町地藏堂で職工大會を開き態度を決定する筈である

來る八月工廠で

一万人を馘首

職工側は失業手當の件で當局に當るべく協議開始

既報の砲兵工廠が來る六月早々小銃製作所より轉業せしむべく砲具[illegible]に收容の事に決定した[illegible]四百名の職工は之れを[illegible]つて豈夫と思つた職工の驚き一方ならず、折角

小銃に

在つて熟練した技術も今度は雜工と混同されるのみか收入の上にも非常なる影響、さりとて一同結束して作業も手につかず戰々と非難の聲を擧げて急ぎ寄り／＼善後策の協議中であることに對し陸軍側では小銃の方は全然休場してもよいが馘首は最初から斷然せぬ心算であるから特に此の方で仕事を與へる譯であると解してゐるがその實、來る八月根本的の荒療治として大阪工廠と東西合して同時に一万人の馘首[illegible]を出す

手當を

してゐる、そこで職工側は失業手當の事件で陸軍當局に當るべく來る六月二十七八日頃小石川勞働會、大阪向上會、日本勞働聯盟等打つて一丸として東京に職工大會を開き一般官民勞働團の應援を得て最後の大運動を惹起すべく打合せ中である、右に就き警視廳古森勞働係長は語る「軍縮に基いて愈

解雇者

を出す事になつてゐるが果して時期が八月か何うか、陸軍當局で目下目算を樹てゝゐる事と思ふ、無論職工の要求する如き、失業手當は難からうが、併し相當の手當は出るに相違ない」云々